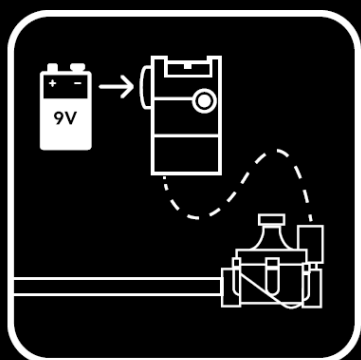
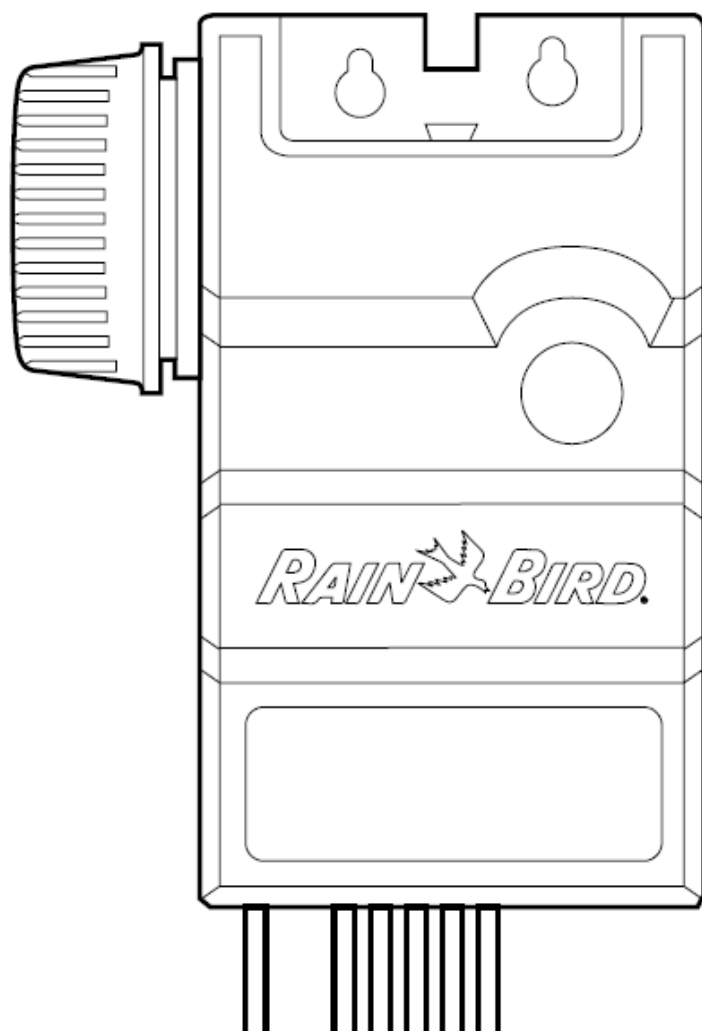




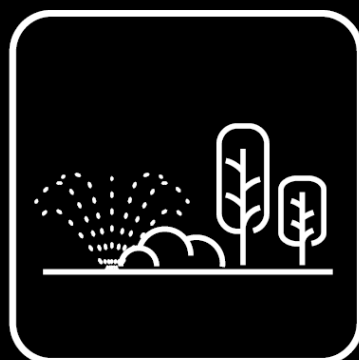
9V乾電池式
TBOS-BTコントローラー
取扱説明書
(1,2,4,6ステーション)



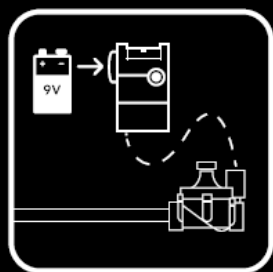
1



2

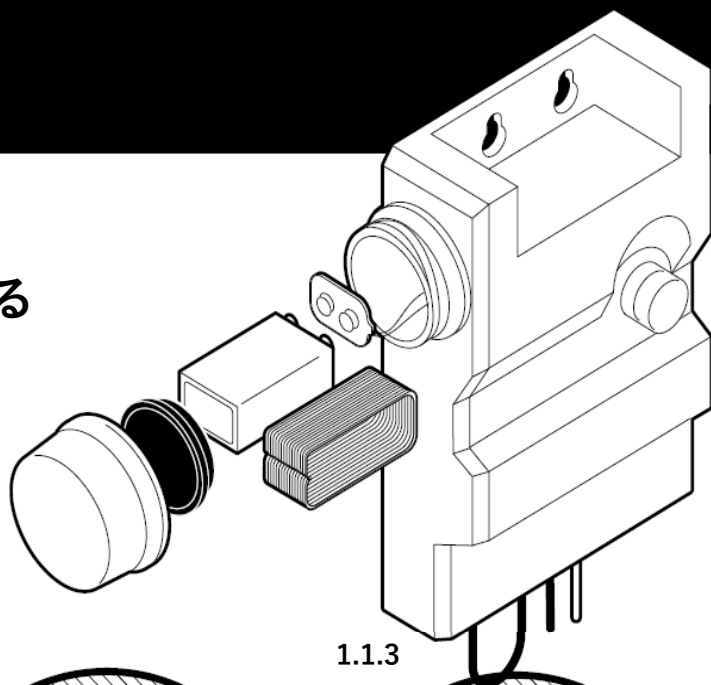


3

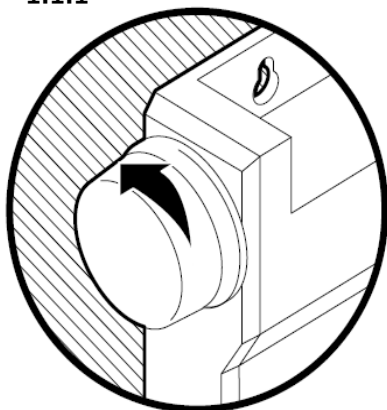


1. 取付

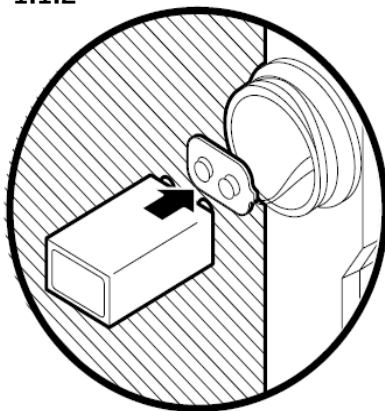
1.1 9V電池を取り付ける



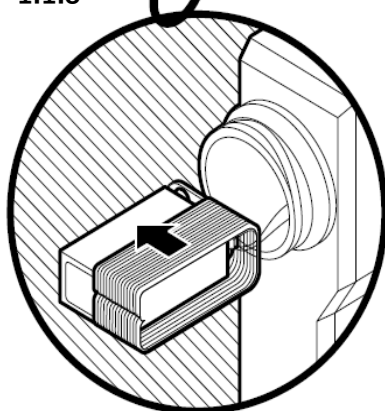
1.1.1



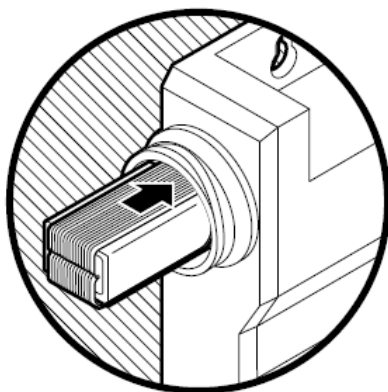
1.1.2



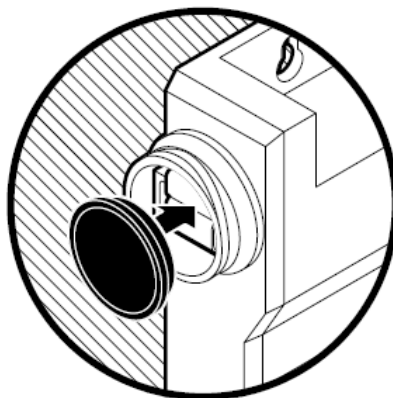
1.1.3



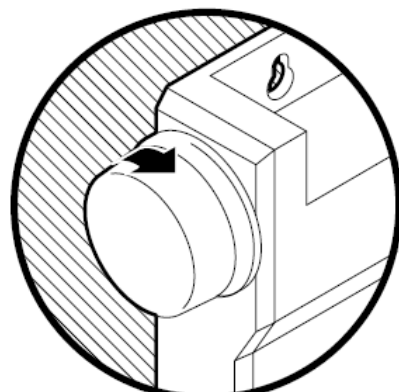
1.1.4



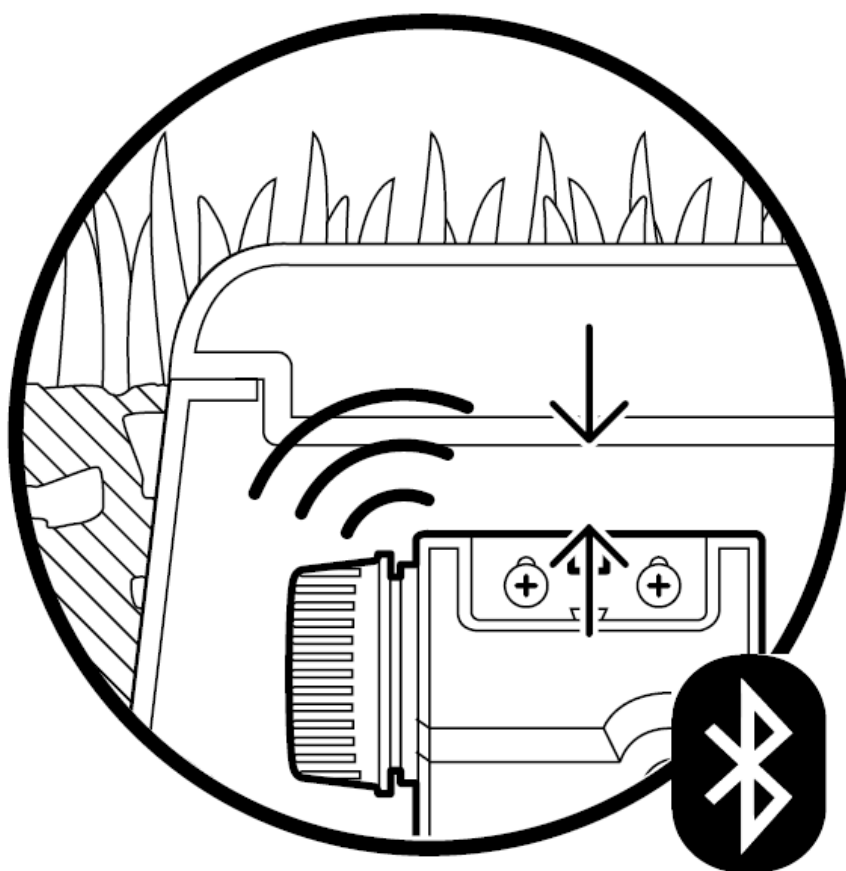
1.1.5



1.1.6

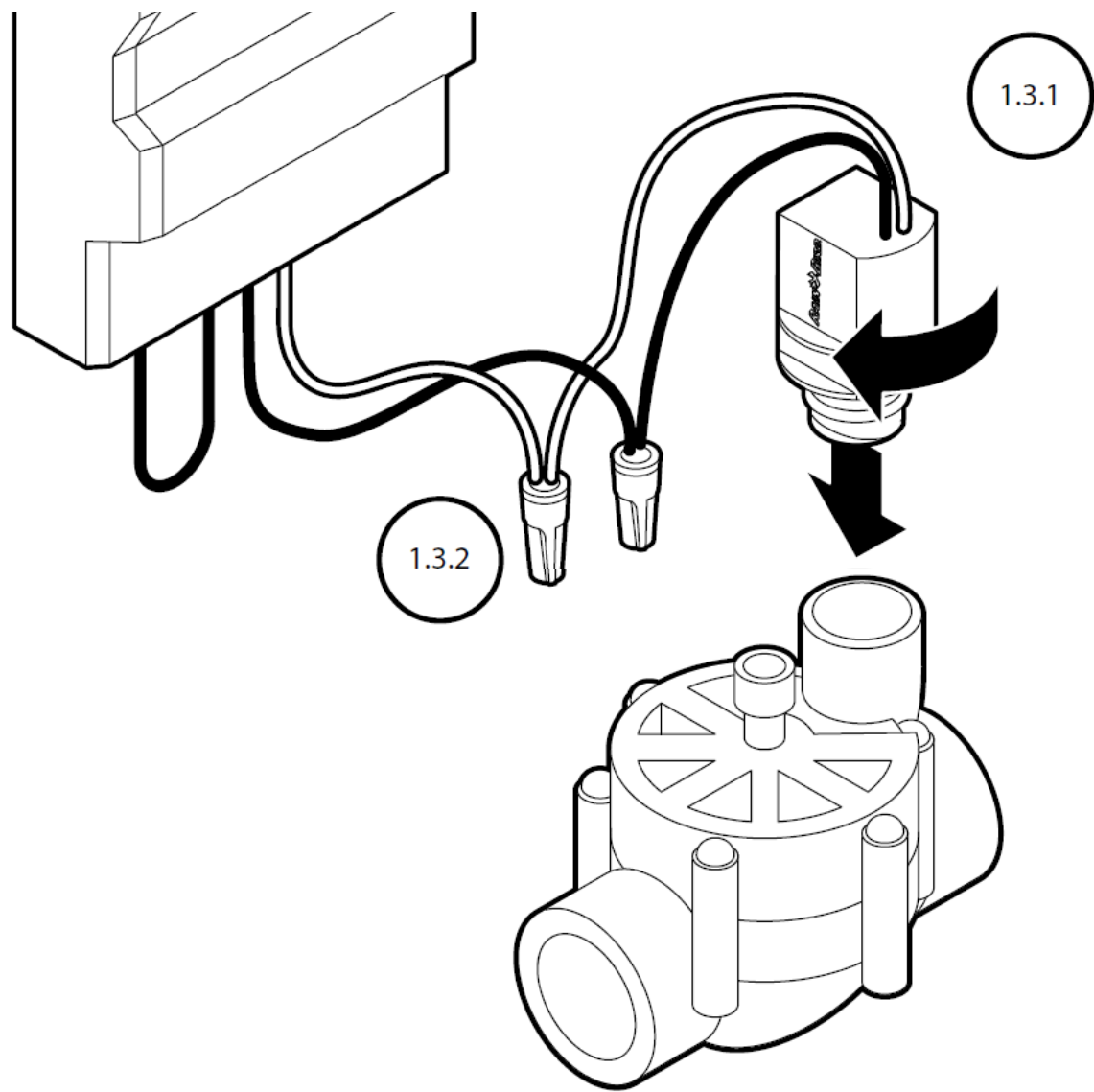


1.2 TBOS-BT設置

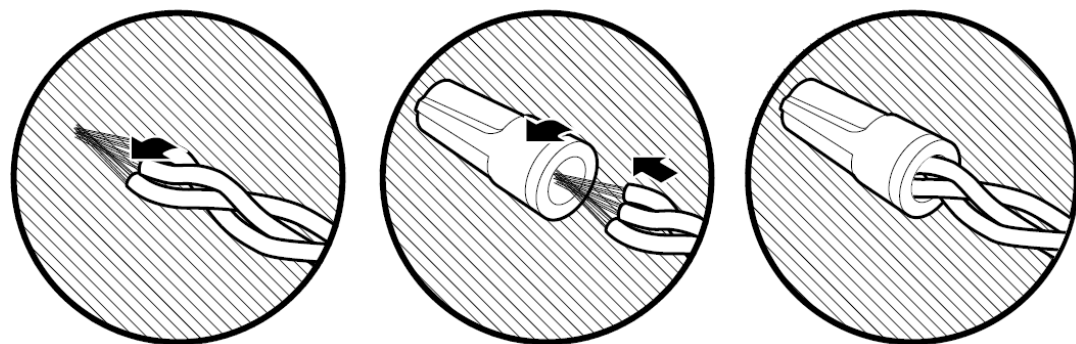


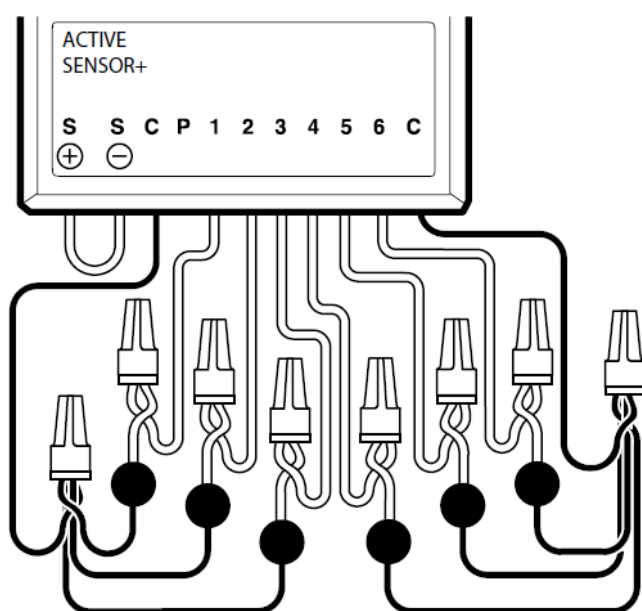
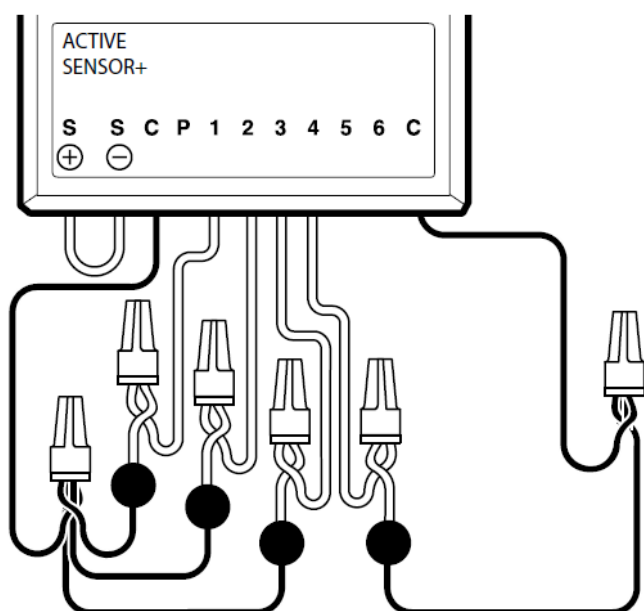
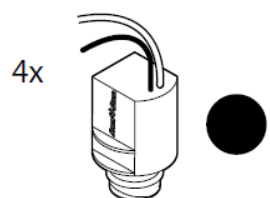
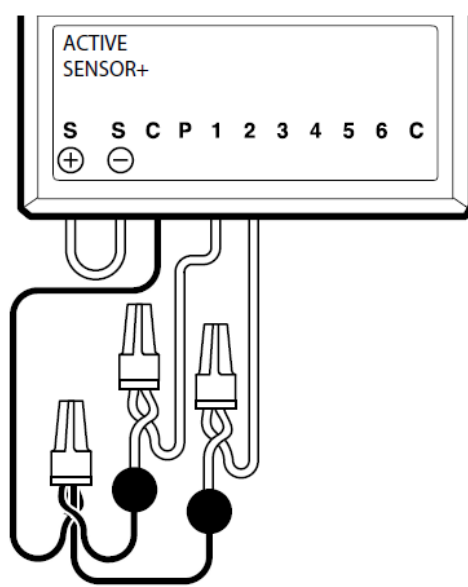
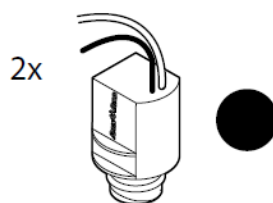
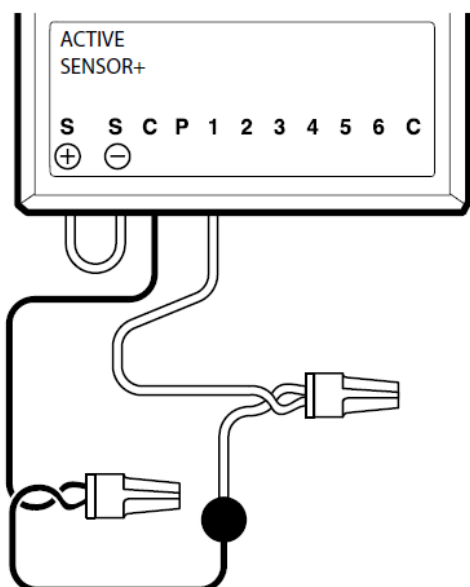
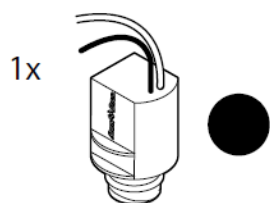
Bluetoothの範囲と信号強度を最適化するには、ユニットをできるだけ地面の高さに近づけて取り付けます。

1.3 ソレノイドへの配線



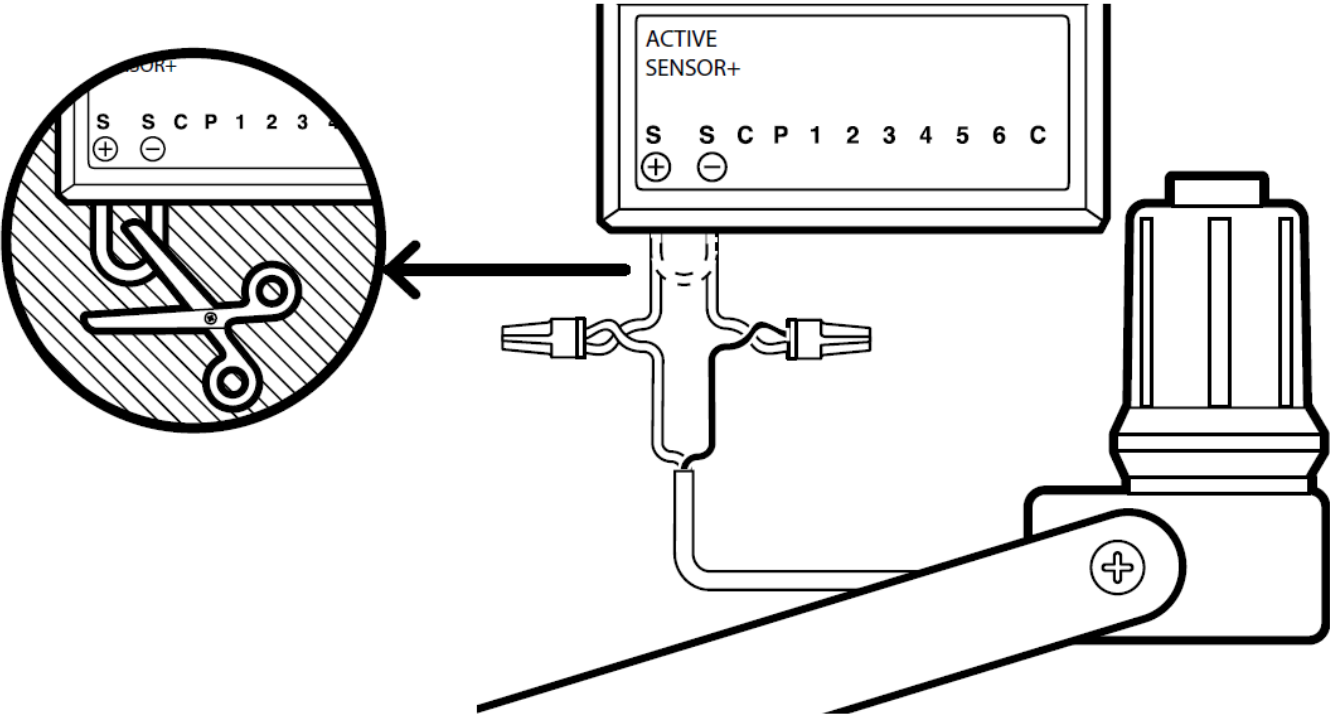
1.3.3





1.4 アクセサリへの配線（オプション）

1.4.1





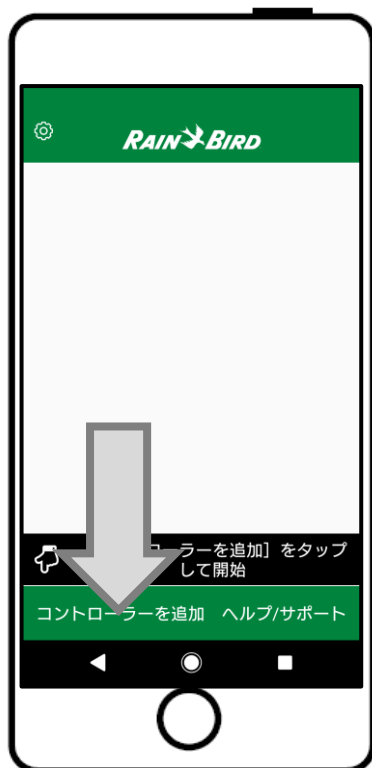
2. スマートフォンとペアリング



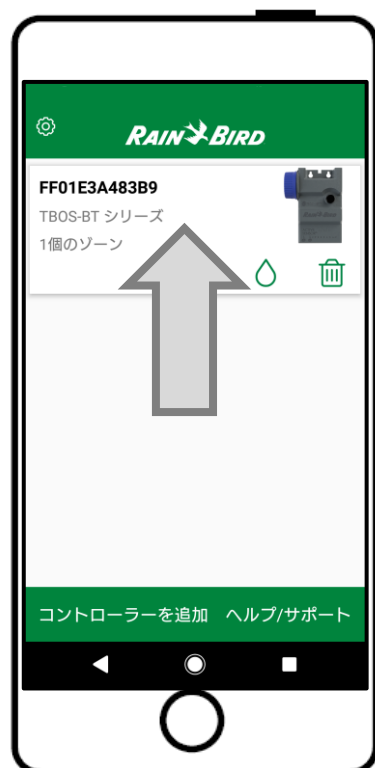
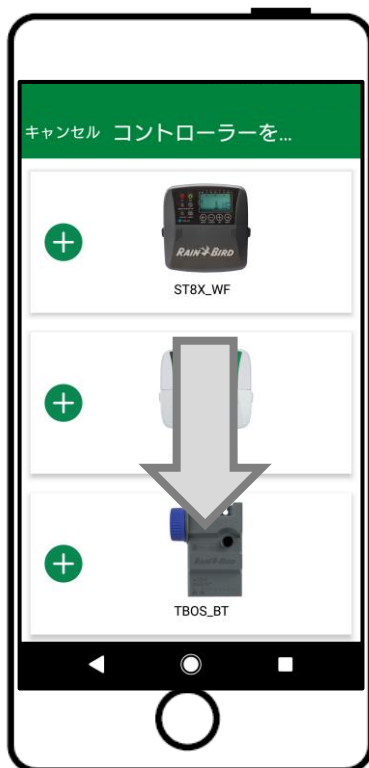
2.1 iOSまたはAndroidアプリストアから
RainBirdアプリをダウンロードします。



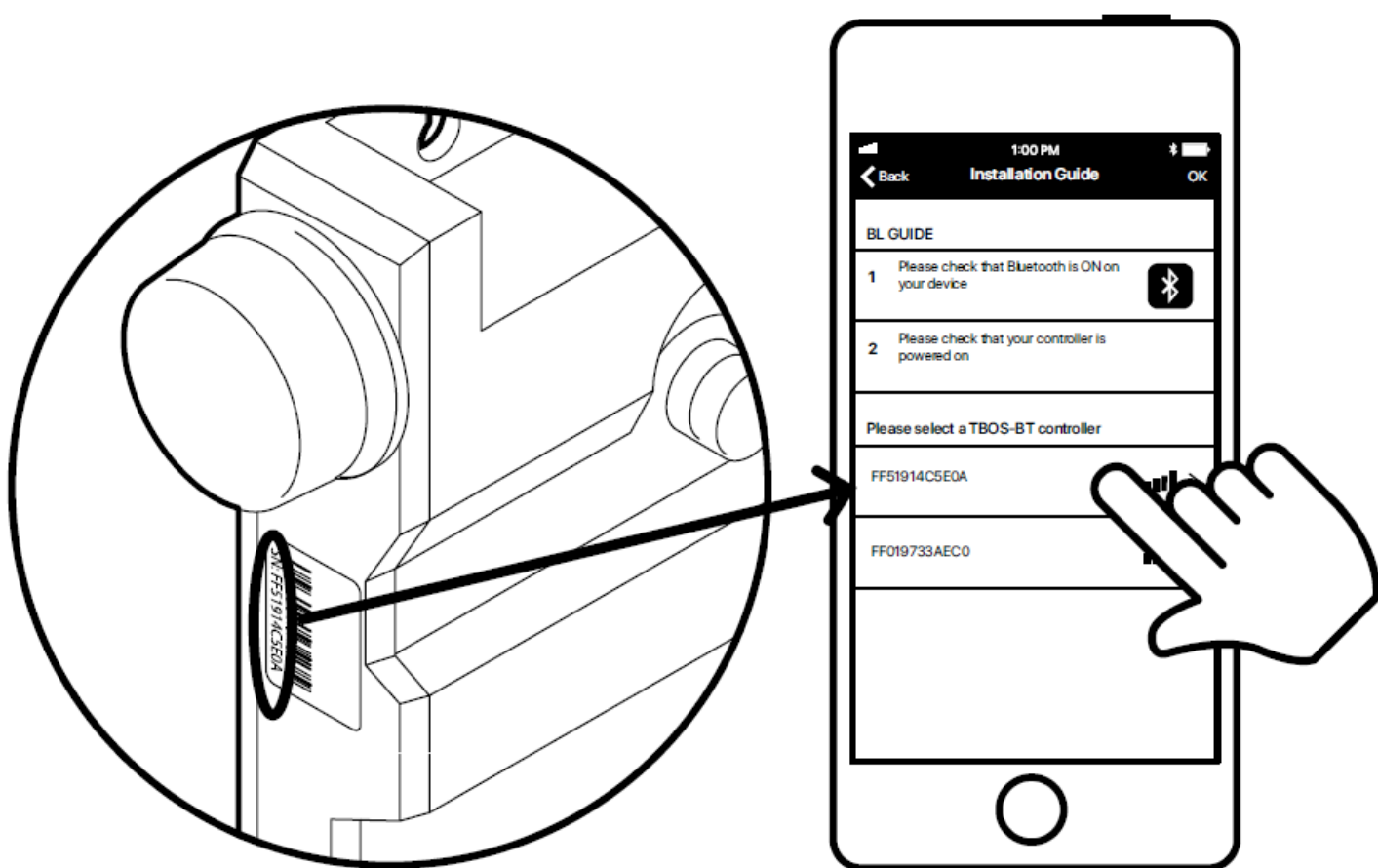
2.2



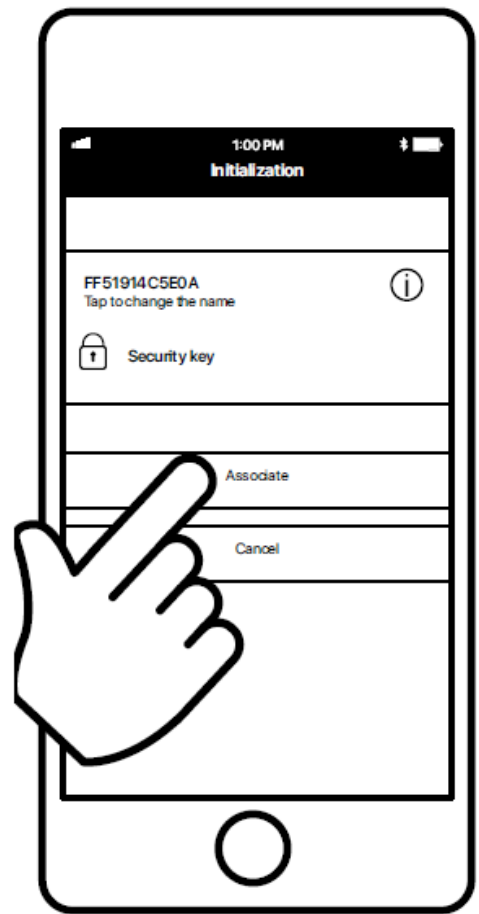
2.3



- 2.4 リストからコントローラーを選択し、シリアル番号が制御モジュールの側面に印刷されているものと一致することを確認します。（画面が表示されない場合は省略）



- 2.5 「関連付け」を押してペアリングを終了します。（表示されない場合は省略）



- 2.6 これでコントローラーがペアリングされ、散水の準備が整いました。「コントローラーの編集」画面では、ユーザーがデバイスをプログラムできます。



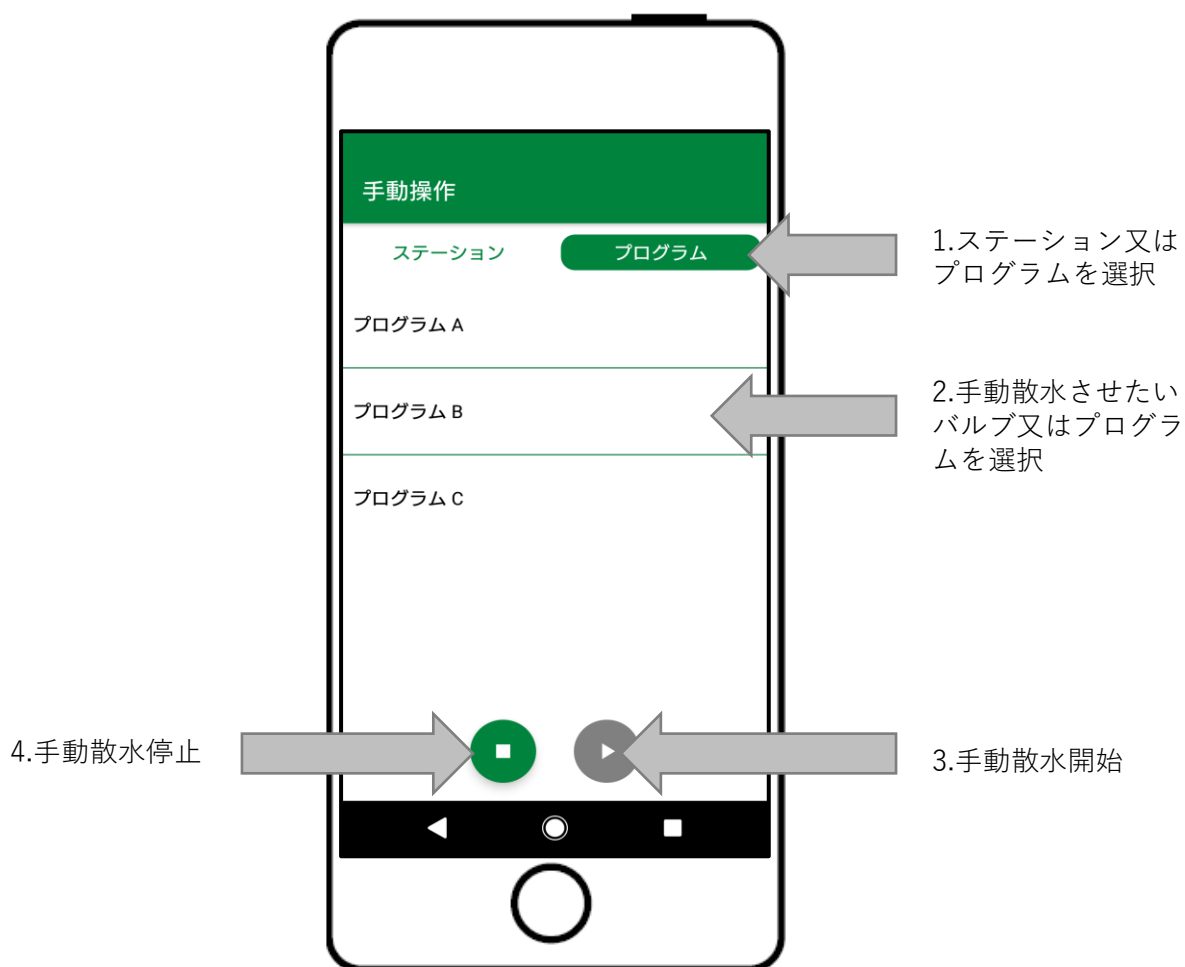


3. プログラム散水



手動散水

3.1 手動操作により、ユーザーはステーションまたはプログラムを設定してすぐに散水することができます。





3.2 「プログラム」画面では、ユーザーが散水をスケジュールすることができます



散水開始時刻設定

散水時間設定

設定を登録／変更する場合は必ず「戻る」を押して、「保存／同期」を押してください。押さないと設定が反映されません。

3.3 コントローラー名、ステーション名変更



このマークをタッチ



変更するとコントローラー名が変わります

変更するとステーション名が変わります

設定を登録／変更する場合は必ず「戻る」を押して、「保存／同期」を押してください。押さないと設定が反映されません。

A.仕様

- Rain Bird Appsを介してスマートフォンまたはタブレットでプログラム可能
- Bluetooth4.0テクノロジーを使用したRainBirdアプリとの通信
- 3つの独立したプログラム（A、B、C）で、1日およびプログラムごとに最大8つの開始時間があります。ステーションは、散水実行時間が異なる複数のプログラムに割り当てることができます
- ステーションあたり1分から12時間の散水時間
- 散水サイクル：カスタマイズされたサイクル（7日）、偶数、奇数、奇数-31（31に散水なし）、周期的
- 手動給水機能
- プログラムレベルとグローバルな月次季節調整（0～300％）
- 雨の遅れ（1～14日）。
- 散水プログラムのバックアップ
- ステーション名機能
- マスターバルブ接続（1ステーションモジュールでは使用できません）
- センサー接続（レインセンサーまたはフローセンサー）
- オプション：TBOS-II無線アダプターを追加した無線接続
- 動作温度範囲：-10°Cから65°C
- 動作圧力：最大10bar

B. 9V電池の取付（電池は製品には含まれていません）

図1.1を参照してください

- 新しい9Vアルカリ電池タイプ6AM6（国際規格）または6LR61'（欧州規格）を搭載
- RainBirdアプリにバッテリー低下アイコンが表示されます

C.ソレノイドの取り付け

図1.3を参照

ソレノイドのバルブへの取り付け：バルブの既存のソレノイドを取り外し、ラッチングソレノイドと交換します。手でそっとねじ込みます。

1.ラッチングソレノイドを制御モジュールに接続します。モジュールに付属のRainBirdワイヤコネクタを使用します。

重要：制御モジュールとソレノイドの間の配線は、0.75mm²の配線を使用して10mを超えてはなりません。

手動スタート機能でシステムを確認してください。システムがオンにならない場合は、ソレノイドをバルブに少しきつく締めます。

D.メンテナンス

- 9V電池（アルカリ電池：タイプ6LR61または同等品）は年に1回交換してください。
- 送信機を赤外線モードで制御モジュールに接続する場合は、接続時に光コネクタが汚れていないことを確認してください。必要に応じて、水を使用して清掃してください。

FCCステートメント

注意：コンプライアンスの責任を負う当事者によって明示的に承認されていない変更または修正を行ったユーザーは、機器を操作するユーザーの権限を無効にする可能性があります。

注：この機器はテスト済みであり、FCC規則のパート15に準拠したクラスBデジタルデバイスの制限に準拠していることが確認済みです。これらの制限は、住宅設備での有害な干渉に対する合理的な保護を提供するように設計されています。

この装置は、無線周波数エネルギーを生成、使用、および放射する可能性があり、指示に従って設置および使用しない場合、無線通信に有害な干渉を引き起こす可能性があります。ただし、特定の設置で干渉が発生しないという保証はありません。この機器がラジオやテレビの受信に有害な干渉を引き起こす場合は、機器の電源をオフにしてからオンにすることで判断できます。ユーザーは、次の1つ以上の方法で干渉を修正することをお勧めします。

- 受信アンテナの向きを変えるか、再配置します。
- 機器と受信機の間隔を広げます。
- 受信機が接続されているものとは別の回路のコンセントに機器を接続します。
- 販売店または経験豊富なラジオ/テレビ技術者に相談してください。

このデバイスは、一般の人々に定められた FCCRF放射線被曝制限に準拠しています。このデバイスは、すべての人から少なくとも 20cm の距離を提供するように設置する必要があり、他のアンテナまたは送信機と同じ場所に配置したり、一緒に操作したりしないでください。

ICステートメント

このクラス (B) デジタル装置は、カナダの ICES-003 に準拠しています。

カナダ産業省の規制では、この無線送信機は、カナダ産業省によって送信機用に承認されたタイプおよび最大（またはそれ以下）のゲインのアンテナを使用してのみ動作できます。他のユーザーへの潜在的な無線干渉を減らすために、アンテナのタイプとそのゲインは、等価等方放射電力 (e.i.r.p.) が通信を成功させるために必要な電力を超えないように選択する必要があります。

このデバイスは、カナダ産業省のライセンス免除 RSS 標準に準拠しています。操作には、次の 2 つの条件があります。(1) このデバイスは干渉を引き起こさないこと、および

(2) このデバイスは、デバイスの望ましくない操作を引き起こす可能性のある干渉を含む、あらゆる干渉を受け入れる必要があります。

このデバイスは、一般住民向けに定められたカナダ産業省の RF 放射線被曝制限に準拠しています。この装置は、すべての人から少なくとも 20cm の距離を確保するように設置する必要があります。

他のアンテナまたは送信機と同じ場所に配置したり、一緒に操作したりしないでください。